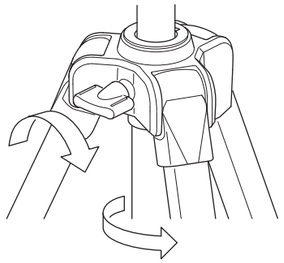
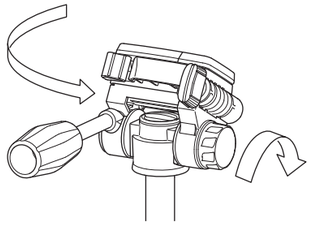
雲台の取り外し

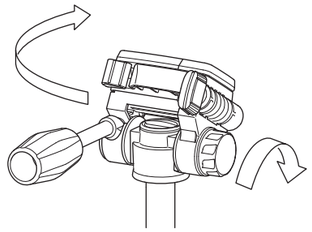


雲台を取り外すときは、次の方法で外してください。
初めに三脚のエレベーターストッパーと
エレベーターカバーパイプを締め込みます。



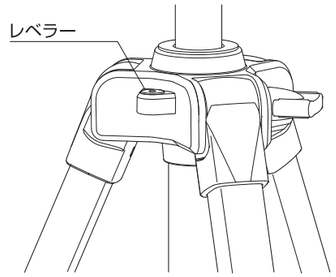
次に、雲台のパンストッパーをしっかり締め込み、
パンハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台を
まわします。
これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け



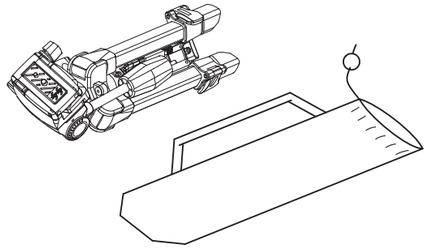
雲台と三脚のネジを合わせて、雲台を時計まわりに
止まるまでまわします。
パンストッパーをきつく締めて、さらに雲台を
時計まわりにねじ込みます。

レベラー



三脚の本体上部にあるレベラーを使用すると、写真撮影時に三脚の水平調整のめやすとすることができます。
三脚用レベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

持ち運びには



三脚ケースをご使用の時は、雲台を下にして担ぐとバランスが良くなります。

メ　モ

禁止

- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
  破損、故障の原因となります。
  可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店または
  アフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。
  夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
  その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ　http://www.slik.co.jp/

＊改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

©2021 SLIK CORPORATION

SLIK® GX−m compact

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことに
ありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき
正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは
必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり
物的損害の発生が想定される内容です。

⃠ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

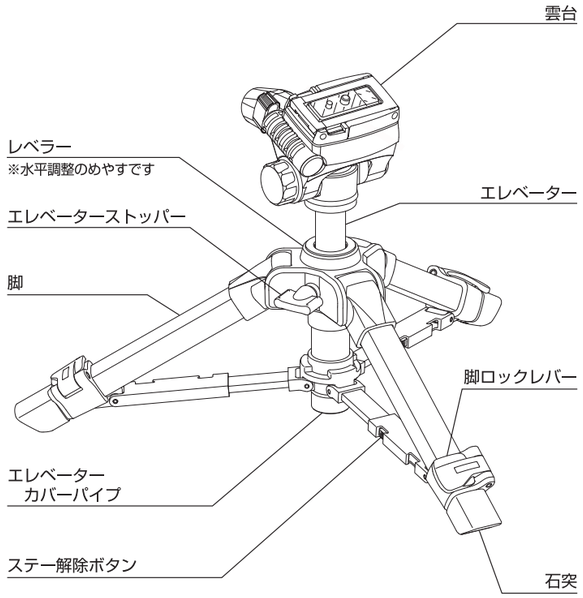
V888

仕様

縮長	295 mm
全高	455 mm
EVスライド	65 mm
質量	745 g

三脚ケース付

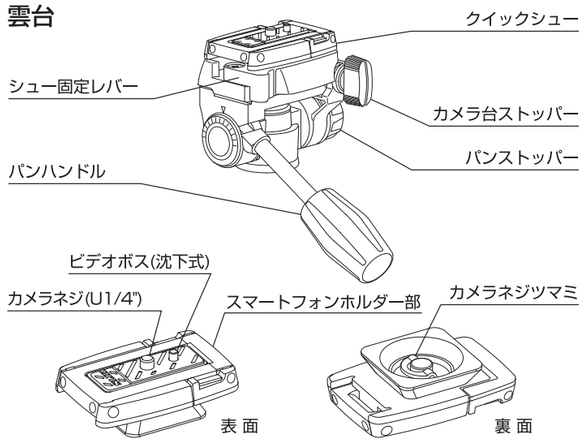
各部名称



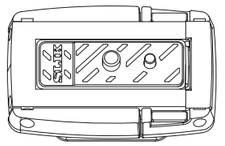
⚠ 注意

※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。
　カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

雲台



別売品



6509 DIN クイックシュー
(スマートフォンホルダー機能付き)

搭載する機材

⃠ 禁止

最大搭載質量：1.5 kg

これ以上の機材は載せないでください。
また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置
によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

使用可能なスマートフォンサイズ

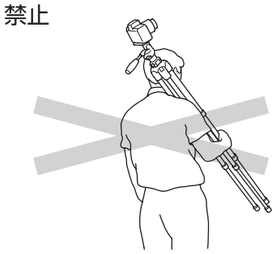
⚠ 注意

幅　：58mm ～ 90mm
厚さ：12mm 以内

スマートフォンや外装ケースの形状によっては
上記寸法内でも確実な取り付けができない場合が
あります。

持ち運びのとき

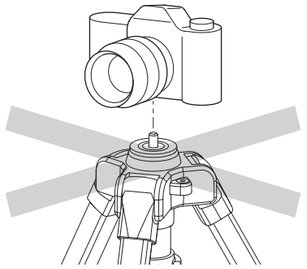
⃠ 禁止



カメラは三脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等
を起こす可能性があります。

雲台取り付けネジ

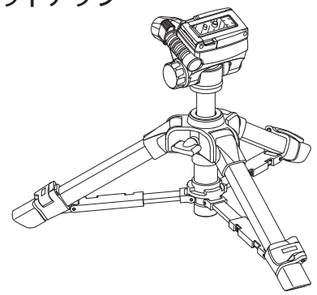
⃠ 禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。
必ず雲台などを介してお取り付けください。

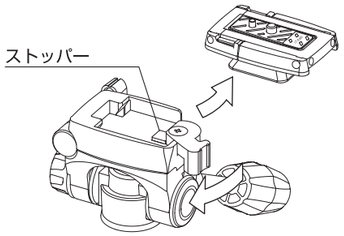
機材のセットアップ

⚠ 注意

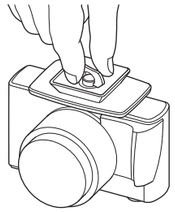


カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、
落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラ
ブレや転倒の原因になります。

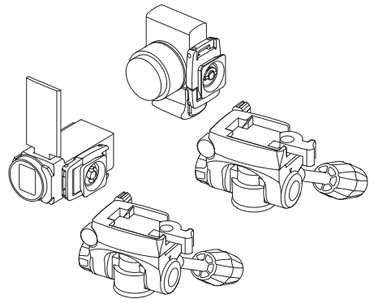
カメラの取り付け方



シュー固定レバーを起こしながらクイックシューを
取り外します。
このときシュー固定レバーは、ストッパーにより
起きた状態になっていますので、無理に戻さない
ように注意してください。

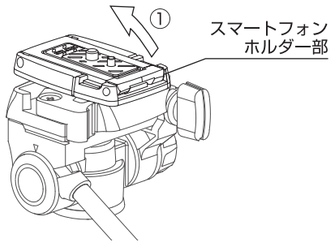


ビデオボスは沈下式のため、ビデオカメラ・デジタル
カメラどちらにも使えます。
ビデオカメラの場合は、ボス穴とビデオボスを一致
させて取り付けてください。
カメラの三脚取り付けネジとクイックシューの
カメラネジを合わせてツマミをしっかりと締め付け、
雲台にシューを戻し、シュー固定レバーでしっかり
と締め込みます。

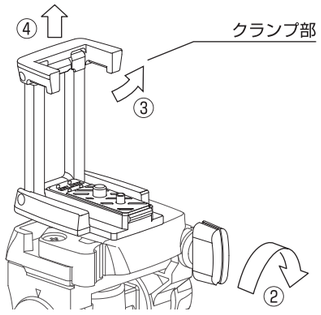


クイックシューは縦向き・横向きどちらでも取り付け
できます。
ビデオカメラの場合は縦向き、デジタルカメラの
場合は横向きで取り付けると安定して撮影できます。

スマートフォンの取り付け方

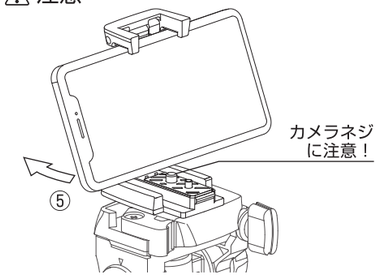


スマートフォンを取り付けるときは、クイック
シューを図のような向きで取り付けてください。
① クイックシューのスマートフォンホルダー部
を矢印の方向に起こします。



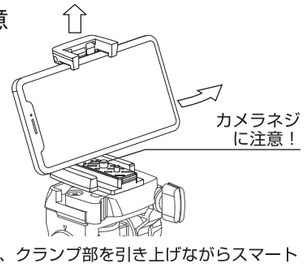
② カメラ台ストッパーを締め付けます。
③ クランプ部を矢印の方向に起こします。
④ クランプ部を真上に引き上げます。

⚠ 注意

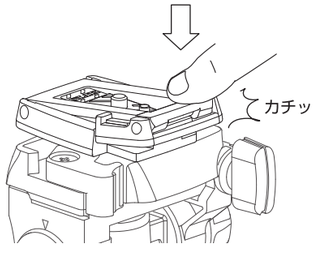


⑤ クランプ部を引き上げながら、スマートフォン
を取り付けます。
注意：スマートフォンを取り付けるときに、
カメラネジに当たらないように注意してください。

⚠ 注意



使用後は、クランプ部を引き上げながらスマート
フォンを取り外します。
注意：スマートフォンを取り外すときに、
カメラネジに当たらないように注意してください。
また、スマートフォンホルダー部に指をはさまない
ように気を付けてください。



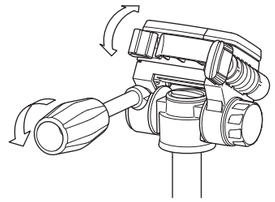
スマートフォンホルダー部を収納するときは、
クランプ部をたたんでからスマートフォンホルダー
部をカチッと鳴るまで押し込んでください。

スマートフォン取り付け時の注意事項

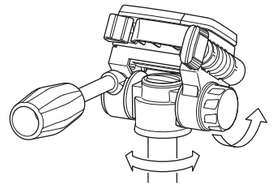
⚠ 注意

・スマートフォンや外装ケースの形状によっては
使用可能サイズ内でも確実な取り付けができない
場合があります。
使用前にご確認ください。
・スマートフォンを取り付けるときに、カメラネジ
に当たらないように注意してください。
また、指をはさまないように注意してください。
・スマートフォンホルダー部やクランプ部を過度な
力で引いたり奥側に倒すと、部品が破損する恐れ
があります。
過度な力を掛けないように注意してください。

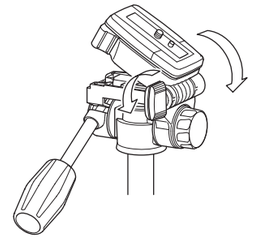
雲台の使い方



ビデオにもスチルにも使える３動作分離雲台です。
雲台の角度調整を行うときは、必ずハンドルや
ストッパーをゆるめてから操作してください。
パンハンドルをゆるめると、カメラを上向き・下向き
にティルトできます。

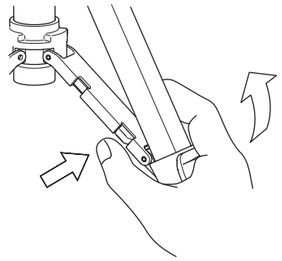


パンストッパーをゆるめると、カメラを左右方向に
パンできます。

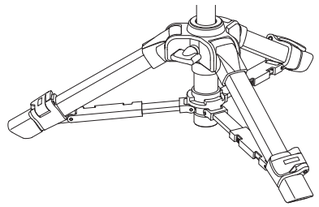


スチルカメラの縦位置撮影は、カメラ台ストッパー
をゆるめて、カメラ台をたててください。

開脚角を変える

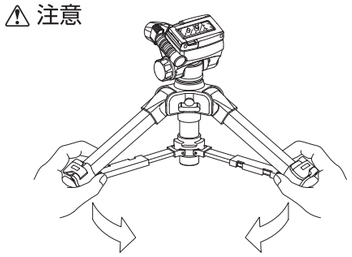


ステー開脚ボタンを押しながら脚を開くと、
ステーが伸びて開脚角度が広がります。



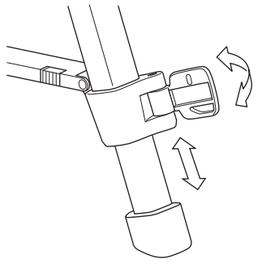
全ての脚を同じように開脚させると、安定度を
高くすることができます。
なるべく脚を開いて使用してください。

⚠ 注意

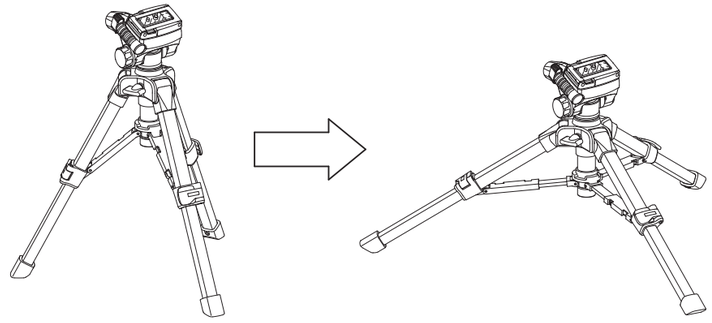


開脚角度を戻すときは、脚を持ったまま閉じると
自動的に元の開脚角度に戻ります。
戻りにくい場合は、ステーを少し持ち上げてから
脚を閉じてください。脚を閉じるときに
指をはさまないように注意してください。

脚の伸ばし方

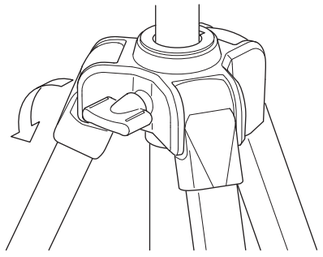


脚ロックレバーを開くとパイプは伸縮できます。
希望の位置でレバーをしっかりロックしてください。



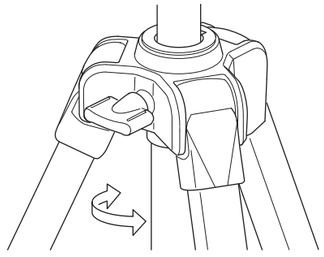
脚を伸ばすときは、安定度を高くするために開脚角度を広くしてお使いください。

エレベーターの使い方



エレベーターストッパーをゆるめると、エレベーターを上下できます。
エレベーターから手を離す前にエレベーターストッパーをしっかりロック
してください。

エレベーターのかたさ調整



エレベーターの動きがかたすぎたり、ゆるすぎたりしたときは、エレベーター
カバーパイプをまわしてかたさを調節してください。